

2010年6月1日

保護者、生徒のみなさんへ

自由の森学園中学校・高等学校

中学校長 中野 裕

高校校長 鬼沢 真之

## 百日咳流行に伴う対策について

現在、本校で百日咳が流行傾向にあります。百日咳とは、百日咳菌が感染して起こる急性気道感染症で、学校保健安全法で第二種学校伝染病に指定されている、感染力の強い病気です。生後6ヶ月以内の乳幼児がかかると、咳によって呼吸困難になり、肺炎や脳症を起こすことがありますので、特に家族に乳幼児がいる人・体験学習やイベントで乳幼児と触れ合う人は、感染源にならないよう注意する必要があります。この状況を受け、学校における百日咳に関する対応について下記事項を御確認いただき、御理解、御協力を宜しくお願いいたします。

### 記

#### 1. 学校の対応方針

**百日咳と診断された場合、「出席停止」となり学校に来ることは出来ません。**

学校保健安全法で出席停止期間は「特有の咳が消失するまで」となっていますが、治療開始から5日で感染力はなくなりますので、原則5日間は自宅療養とします。

登校の際には、医師から登校許可の診断を受け、「登校許可証」を学校に提出して下さい。(証明書は、HPからのダウンロードまたはFAXか郵送いたします。)

尚、百日咳は検査結果が出るまで約1週間を要しますので、疑いがある時点で、出席停止とします。

#### 2. 感染時対応

咳が長期間続く場合には、百日咳の可能性があるので受診して下さい。

その際、主治医に「学校で百日咳が流行っている」旨をお伝えください。

百日咳と診断された場合は、**速やかに学校にご連絡ください。**

自由の森学園中学校・高等学校

TEL 042-972-3131

FAX 042-973-7103

### 3. 百日咳について

潜伏期：6～20日（通常7日ほど）

咳による飛沫感染：風邪の症状がある時と咳が出現して2週間以内がもっとも感染力が強い。3週間を過ぎると感染力はほとんどなくなる。

症状：最初のうちは普通のかぜと変わらない。（鼻汁、くしゃみ、咳）

1～2週間がすぎると次第に激しい咳に変わってくる。

顔を真っ赤にして、コンコンと激しくせき込み最後にヒューッと音を立てて大きく息を吸う発作を起こす。熱は出ないが、吐いたり、眼瞼浮腫（まぶたのむくみ）や顔面の点状出血がみられることがある。

**特に夜間の激しい咳が特徴。咳込み最後に痰を出す。続けて咳き込んだ後、咳の終わり頃にヒューッと空気を吸い込む音が聞こえる。**

ただし、年長児や成人では典型的な咳や咳込みの終わり頃にヒューッと吸い込む音がない場合もある。

2～5週間続き、次第に咳は軽くなる。無治療だと3ヶ月間ほど咳が続く。

一般にそのまま良くなるが、肺炎（22%）や脳症（0.5%）を合併して重症化することがある。

予防：風邪をひかないように注意する。

基本的な感染症予防策（手洗い、うがい、咳エチケット）が重要。

以上

医療機関 御中

学校法人 自由の森学園

## 登校許可証の記入について（依頼）

学校保健安全法で指定されている学校伝染病に罹患した生徒は、登校に際して証明が必要となりますので、お手数ですが下記にご記入のほど宜しくお願い致します。

尚、本校では、「学校伝染病に感染している疑いがあるが、確定診断に時間を要する」という場合には、“疑い”の段階で出席停止としておりますので、その旨を御了承いただき、診断名には「〇〇の疑い」とご記入下さい。

## 登校許可証

学校法人 自由の森学園

中学 / 高校 年 組

氏名

### 診断名

発症年月日 平成 年 月 日

治療期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

上記の者は他に感染のおそれなく、平成 年 月 日より登校して差し支えないことを証明する。

平成 年 月 日

医療機関名

医師名

印

連絡事項・注意事項などがありましたらご記入願います。